

不老山公園登山道に花を植栽

松浦ロータリークラブ

松浦ロータリークラブ（犬養義一会長）が4月15日、不老山総合公園登山道に花苗などを植えました。

同会の社会奉仕活動の一環として、毎年この時期に行っているものです。

この日は、会員約30人が、ひまわりの種とガザニア400本を約1時間かけて植えました。

会員たちは「不老山公園に来られた方に花を楽しんでもらえたらうれしいですね」と話していました。



ソフトボールで親ぼく

今福町球技大会

今福町球技大会（松浦商工会議所今福支部青年部主催、中島清隆部長）が4月17日、今福町民グラウンドで開催されました。

同大会は地域住民の親ぼくなどを目的に毎年春と秋に開催しており、今回はソフトボール大会を実施。参加4チームによる総当たり戦が行われました。

上位の結果は次の通りです。

【優勝】人柱

【準優勝】木場

【3位】宮日会

【4位】森システム

【MVP】富田 浩隆（今福・北東1）

【ホームラン賞】太田黒 信彦（今福・木場）



ステッカーで交通安全呼び掛け

地区交通安全活動推進協議会

地区交通安全活動推進協議会（田中幸雄会長）が4月12日、市に安全運転ステッカー130枚を贈呈しました。

このステッカーは、市内で発生する交通事故を少しでもなくしたいとの思いから手作りされたもので、「安全運転をお願いします」とのメッセージが書かれています。この日は、同協議会から田中会長と宮原尚彦さん、松浦警察署交通課の神戸年美課長などが市役所を訪れ、友広市長にステッカーを渡しました。

協議会の2人は「まずは市の公用車に貼ってもらい、安全運転の意識向上を図ってほしい。ステッカーは市内の各事業所にも配付して、さらなる安全運転の啓発と交通事故防止のための活動をしていきます」と話していました。



アユさん、大きく育ってね

志佐川の4カ所で稚アユを放流

稚アユの放流が4月15日、志佐川で行われました。

志佐川の水産資源の維持と子どもたちの体験学習のため、毎年この時期に放流しています。

この日放流したのは、大分県日田市から運ばれた体長約7センチほどの稚アユ約5万尾。市職員などが約2時間かけて志佐川の4カ所で放流を行いました。

上志佐郵便局裏の川では、上志佐保育所の4～5歳の園児14人や上志佐小学校3、4年生21人も参加。生き物との触れ合いを楽しみながら稚アユを放流しました。6月1日のアユ漁解禁には15～18センチに成長する見込みです。





30種類の音を操る中学生

ボイスパーカッションで観客を魅了。

Interview

Kazumaさん (岩崎 和真君)

志佐中学校3年生

4月10日、市内A.L.Tが中心となって開催された東北地方太平洋沖地震被災者支援チャリティイベント「頑張つて！JAPAN」のステージイベントで、ボイスパーカッション（打楽器の奏でる音色を口で表現する技術）を披露するKazumaさん。2月26日に博多で開催された「青春アカペラ甲子園ハモネプリーグ予選九州大会ボイパリーグ」優勝という実力を持つKazumaさんに今後の目標などを聞きました。

Cこの人に CLOSE UP!
まつうら 輝キラリ人



◎ PROFILE

かずま
岩崎 和真君
(志佐・高野団地、14)
志佐中学校3年生。部活はソフトテニス部に所属。得意教科は理科。

Q ボイスパーカッションを始めたきっかけは何ですか？

A 1年前、「青春アカペラ甲子園ハモネプリーグ全国大会」のテレビ番組で、口で打楽器の音を何種類も表現されているボイスパーカッションを見て感動したのがきっかけです。

Q 何種類の音を出せますか？また練習方法を教えてください。

A 約30種類の音を出せます。テレビを見て色んな人の技術をまねたり、自分で研究して種類を増やしたりしています。

Q 青春アカペラ甲子園ハモネプリーグ予選九州大会ボイパリーグで

優勝したときの感想は？

A 自分の実力を試したいとの思いで出場したので、優勝と聞いたときは信じられませんでした。とてもうれしかったし、自信にもつながりました。

Q 目標にしている人はいますか？

A 昨年8月にプロデビューされたDAICHIさん（原田大地さん）を目標にしています。

Q 夢を教えてください。

A できればプロデビューしたいです。初めてボイスパーカッションを聴いた人でも楽しめるようなパフォーマンスをすることが夢です。